

# 支援便り

令和6年2月発行 第7号  
串木野特別支援学校 支援部

少しずつ春の足音が聞こえてきました。年度末に向けてこれから忙しくなりますが、体調を整えながら計画的に取り組んでいきましょう。



## 【次年度へ向けて】

### ○ 引継を確実に！（学年間、学校間、学校と関係機関間など）

年度が替わり新しい環境になっても、子供たちが安心して学校生活を過ごせるように、丁寧な引継を行うことは言うまでもありません。特別な支援を必要とする子供たちについては、特に重要となります。準備を少しずつ始めておきましょう。

※ 昨年度発行した「支援便り第8号」（令和5年3月発行 HPにも掲載）に引継について詳しくまとめているので、再度読んで確認してみてください。

### ○ 各学校で校内委員会の在り方について再点検を！

校長のリーダーシップの下、今年度の校内委員会の役割やメンバー構成、時間設定、支援のPDCAサイクルや段階的な検討のプロセスの在り方などを振り返り、次年度の校内支援体制の機能強化に向けて再点検を行いましょう。

#### ※ 是非、参考に！

「チームで進める校内支援体制の再構築～校内委員会の機能強化に向けて～」  
鹿児島県総合教育センター 指導資料 第217号（令和5年4月発行）

「校内支援体制チェックリスト」  
鹿児島県教育委員会 「学校間連携ハンドブック」（令和3年3月）に掲載



## 【お知らせ】

### ○ 「学びの場の変更に係る『段階的な検討のプロセス』の手引～校内支援体制の更なる充実に向けて～」について（令和6年1月 鹿児島県教育委員会）

学びの場の変更に係る  
「段階的な検討の  
プロセス」の手引  
～校内支援体制の更なる充実に向けて～



令和6年1月  
鹿児島県教育委員会

この手引は、令和5年3月、文部科学省より出された「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援に係る方策について（通知）」を踏まえ、鹿児島県教育委員会が今年1月に作成しました。

内容は、校内で支援を検討する際の具体的な手順や使用するツール、また学びの場の変更に係る検討の際の手順について示されています。別冊の資料集には各種チェックリストやリーフレット、特別支援教育に関する情報やそれらのQRコードも掲載されています。なお、これらは鹿児島県教育委員会のホームページに掲載されていますので、是非一度御確認いただき、校内支援体制の更なる充実に向けて活用してください。

### ○ 「こども総合療育センター」受診申込に係る様式の変更について

各学校から「こども総合療育センター」へ受診を申し込まれる際に、所属の園・学校から紹介票を作成する必要がありますが、受診の効率化を図るため、就学児用の書式が変更されました。新様式は令和6年4月1日から鹿児島県のホームページに掲載されるようなので、申し込まれる際は御確認ください。